

とよのっこ

学校便り
長野市立豊野西小学校



蒸し暑く連日雨の梅雨，そして梅雨が明けると同時に猛暑と，今年のはっきりと典型的な季節を感じる7月となりました。

ただ，今年の梅雨は曇りと雨の毎日とは言え，雨の降る時間が限られていたので，水泳学習はしっかりできました。
プールで歓声を上げる1年生→



平成22年度1学期終了

今日(7/26)の**終業式**で，76日間の1学期が終わりました。

ぴかぴかの1年生49名を迎えた入学式と，一つずつ上級生となったことを確かめあった1学期始業式からスタートした平成22年度。4月～5月はやや天候不順で，雨天延期の行事もありましたが，結果的には，やるべきことが全て無事やり遂げて，1学期を終えることができました。みんなが元気に終業式を迎えられたことが何よりの喜びです。

1学期間の保護者，地域の皆様のご協力に感謝いたします。

重点目標の取り組み(7月) (そうじ「無言清掃ができる子ども」)

7月の月目標は「残り3分をしっかりとやろう」で，清掃をがんばりました。14日(水)から23日(金)まで，学期末大掃除にも取り組みました。この期間中，係の先生から掃除をがんばってる姿が放送で紹介されました。全校で，お互いのいい姿に学びあって，さらによくなろうとがんばっている子どもたちです。



7月のトピックス

佐渡臨海学校6年

(22日, 23日)

絶好の海日和りに恵まれた佐渡臨海学校。元気に楽しく2日間の日程をこなし，楽しい思い出をいっぱい作ってきました。

写真は，1日目のたらい舟(をこぐ6年生たち)の様子です。上手にこげて，前へ進んでいました。



夏の集い

(14日)

4年生以上が，工夫して準備してくれた楽しいアトラクションを。

縦割り班で回って，楽しく挑戦しました。

写真は，5年生のアトラクション，ボーリングで楽しむ子どもたちです。



校長講話 7月

H 2 2 . 7 . 7

先日、三念沢のホタルを見に行きました。ホタルは、道を少し入ったところからたくさん見られるようになり、光を点滅させて飛んでいます。山の奥ではあっちから、こっちからホタルが飛び立っています。とんで光ったり草むらで光ったり。とてもきれいな景色でした。今年はいつもの年に比べて少ないと言います。今日は、ホタルについてお話したいと思います。

先月の24日に三念沢のホタルを守る会の山岸先生が6年2組でお話をしてくださいました。山岸先生のお話では、先生たちが子どもの頃はこのあたりもホタルがたくさん飛び回っていたということです。けれども、だんだんと住みにくくなってきたためでしょうか。三念沢の上の方にしかみられなくなったようです。「ホタルが飛ぶ町にしよう」、「ホタルをもっと見られるようにしよう」と、20年ほど前から三念沢を整え始めたことなのです。山岸先生のお話を聞いて、6年生の左澤君は「ホタルが育つのに必要な環境は、えさのカワニナがいるところ、水のきれいなところ、水温が低いところ、明るくないところなどと教えられました。」と発表してくれました。また藤澤君は「ホタルや学校のビオトープのことについて、くわしくわかりました。去年は1000匹もいたと聞いてびっくりしました。僕はホタルを守る気持ちになりました。」と発表してくれました。

校長先生もホタルのことについて調べてみました。

川の近くの木の枝にはこけがはえているところに、たくさんの卵が産みつけられています。これがホタルの卵です。一ヶ月ほどたつと卵から、幼虫が生まれます。幼虫はすぐに枝から川に落ちていきます。たくさんの幼虫が川で暮らし始めます。幼虫のえさとなるのは、カワニナという巻き貝です。ホタルの幼虫はカワニナを見つけると、とびかかって食べてしまいます。そうして、だんだんと大きくなって、秋から冬を過ごすのです。



暖かい春がやってきます。雨が降って、しっとりとぬれている夜、幼虫は川から岸に上っていきます。岸に上がると今度は土の中にもぐってさなぎになるための部屋をつくらせます。そして、さなぎになります。何十日かすぎました。さなぎの背中が割れて、大人になったホタルがゆっくり出てきました。これが6月です。

土の中から出てきたホタルは、草にはい上ります。もう、ホタルは水を飲むだけで何も食べません。葉っぱの影にとまって、夜を待ちます。あたりが暗くなり始めますとホタルは光り始めます。それからホタルはすうっと飛び立ちます。ホタルが光るのは結婚相手を見つけるためです。光りながら飛んでいるのはオスでメスは草に止まって静かに光ります。互いに気に入った相手を見つけ、3～4日後に500個くらいの卵を産み、数日後に死んでいきます。

ホタルについて勉強した6年2組に話を聞きました。

4月に、ビオトープの藻をとってきれいにし、次に、昨年までいらした保科先生よりいただいたホタルの幼虫を観察し、ホタルについて学級で調べたり、三念沢の清掃活動を行ったりしたことです。

学習ノートに善財さんは、「川には、ビニールやペットボトルが所々ありました。水はすごくきれいで、川底がしっかり見えませんでした。思っていたよりカワニナが少なかったです。ホタルは水が汚いとだめなので、私もきれいにできればいいと思いました。」とノートにまとめてありました。

井上さんは、今年はホタルが少ないということで、たくさんのホタルが見られればいいな。それから、自分たちは、池をきれいにする時も、幼虫が地面に潜れるように、石の上に乗って、池に近い土の上に乗らないようにしている。全校のみなさんも、池の周りを踏みつけないように注意してほしいと話していました。

地域の人たちは20年以上もゴミを拾い、カワニナが育ち、ホタルが休めるよう三念沢の整備をしてきました。ホタルはきれいな環境のところに住むと言います。学校もきれいに整えておきたいですね。

これからも豊野のホタルを大切に、ホタルについていろいろな勉強を続けていっていただければいいなと先生は思います。

明日から夏休みです。夏休みのすごし方は、各学年、学級、子ども会等で話があったと思います。いい休みを過ごし、2学期最初の日(8/20)に、たくさんの楽しい思い出をもって、元気に登校してきてくれることを願っています。